

高騰目的の「買占め」と「横流し」は 特殊鋼スクラップ・リサイクルの 敵です

「信頼」「品質」「安定供給」の
3本柱へのこだわり

鈴木産業（本社・埼玉県川口市）は、スクラップ業界でも一目置かれる存在だ。ただし扱うのは、一般的な「鉄」や「銅」「アルミ」ではなく、ニッチな「特殊鋼」を専らとする点もユニークだろう。

「特殊鋼」とは少々難解だが、要するに「ステンレス」や「超合金（スーパーアロイ）」「工具鋼」といった類いで、ニッケルやタンゲステン、モリブデン、コバルト、ニオブ、クロムなど高価なレアメタルを含む合

金の総称だ。IT産業の発展を受けてか、昨今はタンタルやチタン、バナジウム、シリコンといった元素を含む素材も増えている。

「このインゴット（*再生塊）にはコバルトが含まれているんですよ」

*「数種のスクラップを配合し、一定成分の母合金（塊）を委託溶解にて製作」

と、川口本社のストックヤードを案内する同社社長の鈴木浩一郎氏は、こう屈託がない。「スクラップ工場」といえば、「広大な敷地に廃車や鉄くずの山」を思い浮かべるが、こうした風景はここにはな

埼玉県川口市の本社。
白垂の建物に「スクラップ工場」のイメージはない

